



あのときの常呂・写真館

VOL 98

(1984年)

昭和59年6月28日

常呂町開基百年記念タイムカプセル埋設

▶今回は、写真と「広報ところ」の記事だけで紹介します。



FUJICOLOR HR 84



FUJICOLOR HR 84

*この3枚の写真は、タイムカプセルに収められた物品。次ページの広報記事にリストがあります。



FUJICOLOR HR 84



*上：常呂町開基百年記念塔横の敷地にタイムカプセル埋設用の穴を掘っている作業車

*右・下：タイムカプセル埋設の行事

次ページの広報に詳しく書いていますが、2033年に60歳を迎える町内の小学4年生97人の手により、地中に埋められました。(現在、2016年なので、17年後の11月が掘り起こし、開封です)



＊下：「広報ところ」（昭和59年8月号）から

開封は2033年11月

開基百年タイムカプセルを埋設



昨年常呂町では、開基百年を記念して、全町民六千人の手形柱・百年記念展望塔の建設をはじめ、さまざまな行事等が行われました。この記念事業の一環として企画されたタイムカプセルの埋設が、六月二十八日、森林公園内に建てられた展望塔横に町内の小学生等の手によって埋められました。

タイムカプセル収納品一覧

品目	品名	数量
50年後へのメッセージ		81点
開基100年関係	記念映画外	10点
町政資料	町例規類集外	1,050点
雑誌関係	週刊誌外	20点
生活用品	家計簿外	16点
衣料品	Tシャツ外	6点
おもちゃ類	プラモデル外	3点
医薬品	救急医薬品一式	1点
食料品	缶詰外	31点
郷土芸術品	流氷焼外	4点
施設等写真	役場庁舎外	222点
新聞	北海道新聞外	6点
絵画等	児童生徒等作品	508点
その他		63点
合計		2,021点

カプセル本体は、オレンジ色の強化プラスチック製で直径一・二メートルの球形、収納品は、現在の町政全般にわたる資料、町内児童・生徒が書いた作文・絵画、衣料品、食料品、おもちゃ、町並みや建物を撮影したスライド、週刊紙、そして、五十年後にカプセルを開封する町民へのメッセージ（このメッセージは、一般町民から応募した「五十年後のまだ見ぬ子供や孫たちへ」と宛名が書かれたものが主なもの）など約二千点が

詰められ、いまの常呂町の生活文化をそのまま未来に伝えようというものです。

この日午後から行われたタイムカプセル埋設式では、齊藤秀信町長、新谷淳治町開基百年記念事業実行委員長のおいさつのもと、五十年後にちようど六十歳の還暦を迎え、カプセルを掘り起こす役を担う、町内の小学四年生九十七人の手により、地下一・八メートルの深さの穴の中へ埋設されました。

このカプセルは、西暦二〇三三年十一月に、この日、埋設に協力した子供たちの手によって開封されることになっています。

